

NETIS登録番号	技術名称	全開口形消音器			
QS-060014-V	副題	共鳴吸収形消音器			
分類1	機械設備	ポンプ設備	揚排水ポンプ設備	キーワード:騒音、公害、消音器、換気扇、発電機、排水機場、エンジン	
分類2	電気通信設備	電気設備	受変電設備		
開発目標	経済性、施工性の向上、省資源・省エネルギー				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input checked="" type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社 ダイヤ空調		TEL	0954-45-3568
	住所	佐賀県武雄市山内町大野7762-2		E-MAIL	daiyah@jasmine.ocn.ne.jp
	担当者	松本			
実績件数 H26.4.1現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
	60件	160件		660件	

技術概要:(300字以内)

①何について何をする技術なのか?
 ポンプ室、機械室等の屋内で発生する騒音が、給換気口を通じて屋外へ伝播するのを低減し、騒音公害の発生を抑える。

②従来はどのような技術で対応していたのか?
 吸音形消音器

③公共工事のどこに適用できるのか?
 ・建屋の給換気口(排水機場、ポンプ室、下水処理場、発電機室、機械室、パッケージ型発電機)
 ・エンジンのラジエータ排風口

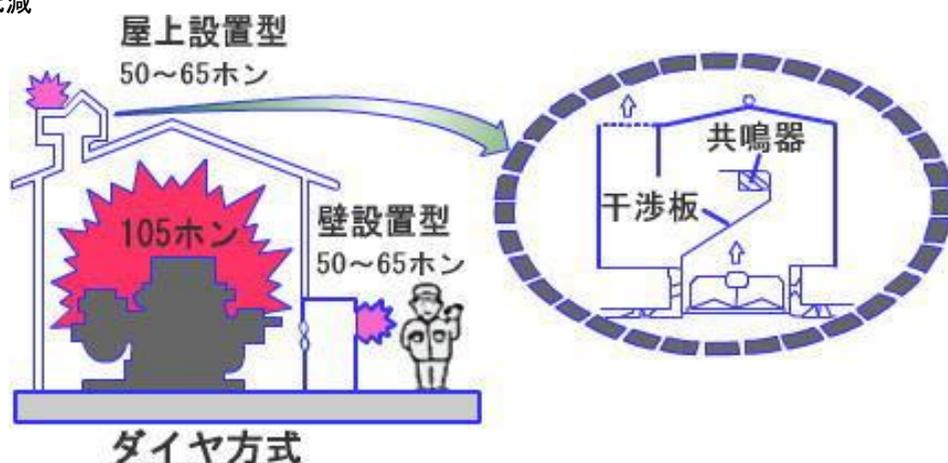
新規性及び期待される効果

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)
 音の特性(共鳴・膨張・干渉)の相乗効果で消音することで、低周波帯域を含めた大きな消音力を実現するとともに、圧力損失(抵抗)を小さくし、低出力のファンを適用できることが可能となった。また、壁に直接設置することで消音室が不要となり、建築コストの削減も可能となった。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)
 ・壁面、天井面の建築開口の必要面積を縮小 → 耐震設計が容易 → 建設費減額
 ・圧力損失(抵抗)小 → ファンの出力を低減 → 契約電力料金減額 → ランニングコスト低減
 ・低周波帯域の消音力の増大 → 騒音公害防止効果の向上
 ・壁に直接設置 → 消音室が不要 → 建築コスト低減

適用条件

- ①自然条件
特に制限無し。
- ②現場条件
特に無し。
- ③技術提供可能地域
制限無し。(寒冷地でも可)
- ④関係法令等
騒音規制法



留意事項

- ①設計時
現場の諸条件(騒音源、建屋、風量)を基に、敷地境界線上における規制値から必要消音量を算出し、これを満足する消音器と建築開口の大きさ、位置関係を提案し設計図書、対策書を作成する。
- ②施工時
据付作業は簡潔化しており、一般の機械器具設置業者ならば容易に施工できる。基本的には、アンカーボルトにて固定する取付けとなります。
- ③維持管理等
電気は必要としないので、基本的にはノーメンテナンス。

- ④その他
特に無し。

